



有田 喜一郎

群栄化学工業
取締役 社長執行役員

小さな国際化

左の写真は9.11の前後にお世話になっていた米国の法律事務所の弁護士です。何も分からずに渡米した私の兄貴分のような存在で、住居をはじめとしたプライベートから仕事に至るまで大変お世話になりました。最初に出会ったころは約20年前でお互い独身でしたが、その後私は結婚。彼は多忙を極めていたので「このまま独身かな」と思っていたところ、10年ほど前に結婚し、今では2児の父親です。普段はなかなか会えなくても、何かあるとメールで近況を連絡したり、クリスマスカードではお互いの家族の写真を送ったりという交流が続いておりました。

右の写真は2017年の8月に家族で米国旅行をした時のものです。彼に連絡をしたところ自宅に招待していただき、食事をごちそうになりながらゆっくりと話をしたのが昨日のことのように思い出されます。

自宅では子どもの世話をしながら食事をふるまってくれた

りと、仕事するときには分からなかった一面に感心しつつ、あまり家事をしてこなかった自分を大いに反省した次第です。

彼の子どもたちは私の子どもたちよりも年下ですが、大変積極的に話し掛けてくるなど、米国人と日本人とでは子どものころから違うのかな？ と思ったりしたものです。

製造業と法律家とは大きく異なりますが、仕事を進める上での事前準備、チームでの議論、また個人主義と思っていた米国が日本以上にチーム力が高いと感じる面もあり、大いに参考になりました。まさにアフターコロナの働き方を考えるには良い環境でした。

仕事だけでなく、このようにプライベートでも交流させてもらうことで、私の中の国際化にも大いに役に立っています。

コロナウイルスが収まれば、もう一度訪問し、さらに大きくなった彼の子どもたちとも再会したいと思っています。そのためにも少しは英語を勉強しておかないと！

